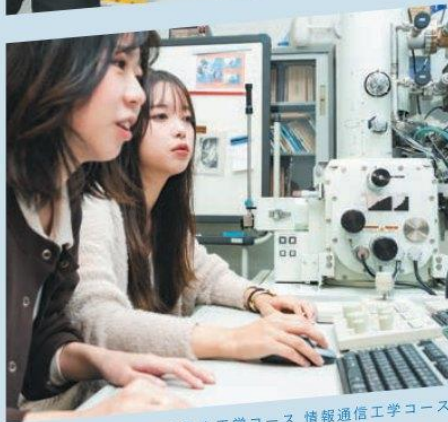
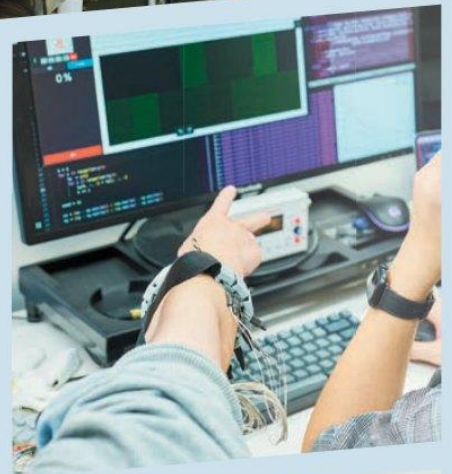


東京都公立大学法人

東京都立産業技術 高等専門学校



2027 学校案内



機械システム工学コース AIスマート工学コース 電気電子エネルギー工学コース 情報システム工学コース 情報通信工学コース ロボット工学コース 航空宇宙工学コース 医療福祉工学コース

未来をつくる人をつくる。

わたしが、未来を切り開く。

高速で進化を続ける産業技術が、未来を切り開く若い力を求めています。

都立産技高専は、次代のエンジニアを育成するカレッジ。
5年間で、高度な専門知識と技術力、豊かな想像力、世界で活躍できるコミュニケーション力を育みます。
ここからの進学・就職が、未来をつくる夢への一歩。一人ひとりに、大きな可能性が用意されています。

SHINAGAWA



ARAKAWA

CONTENTS

2	高専とは？	14	キャンパス施設紹介
4	就職先・進学先データ	16	1年生の1日
6	コースガイド	17	クラブ・同好会
8	品川キャンパスコース紹介	18	コンテスト・イベント受賞歴
10	荒川キャンパスコース紹介	19	学生生活サポート
12	専攻科(創造工学専攻)	20	高専生活 Q&A
13	国際化推進プログラム	21	メッセージ



世界に羽ばたけ ものづくりエキスパート

本校は5年間の一貫した教育により、豊かな教養と高度な専門技術を身につけた実践的技術者(エンジニア)を育成することを目的としています。授業時間の3割を実験実習に配分し、コンピュータをはじめとした様々な機械・器具・装置に触れ、自分の手を動かしながら体験的に学ぶことができる日本でも数少ない教育機関です。最先端の充実した実験実習設備、経験豊かな教員、頼りになる先輩達と一緒に、16歳からエンジニアへの道をスタートしませんか。

高専とは？

高専とは「高等専門学校」の略称で、世界で活躍できる技術者(エンジニア)を育てるための学校です。大学と同じ高等教育機関で、卒業時には準学士の称号が与えられます。中学卒業後の5年間(専攻科に進学すると7年間)を過ごし、その間に一般教養はもちろん、実践的技術と専門知識をしっかりと身につけることができます。



5年一貫教育で社会に通用する力を

高専の特徴は、5年一貫教育です。各学年に一般科目と専門科目・実験実習を効果的に配置し、普通高校(3年)と工学系大学(4年制)の専門課程の内容を履修できるよう、自身の濃い教育カリキュラムを用意しています。



最先端の施設・装置を備えた学びの場

高専には、実験実習のために最先端の実験研究設備・装置が多数用意されています。工場やパソコン室などでは、旋盤・CAD・パソコンなどの装置を1人1台使用して課題に取り組むことができます。



少人数実践型教育で ものづくりのエキスパートに

自身の濃い教育カリキュラムの一例として、少人数で行われる実験実習などの実践型授業が豊富(授業時間の約3割)に用意されています。高専の5年間で、各分野のエキスパートになるために必要な技術と知識をしっかりと身につけることができます。



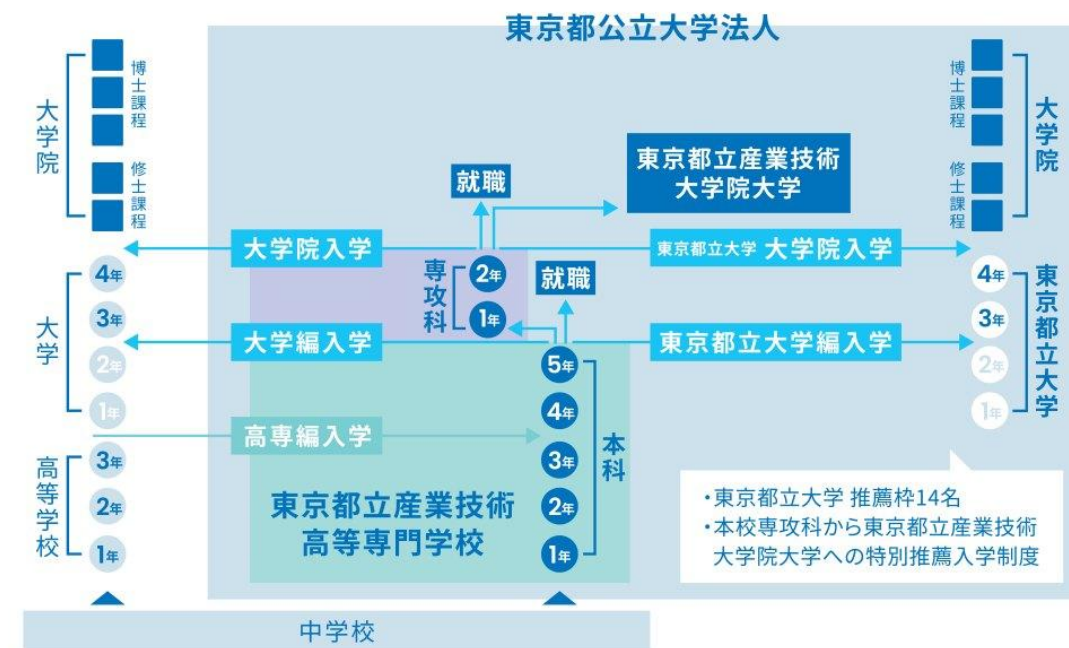
充実したキャンパスライフ —クラブ・同好会活動—

大学受験のない高専では、クラブ活動にも5年間じっくり取り組むことができます。運動系文化系だけでなく高専ならではの技術系クラブもたくさんあります。みなさんも、本校でやりたい事とことん追求してみませんか。

CAREER PATH CHART

就職や大学進学、卒業後の多様な進路

高専を卒業する時点でさらに高度な専門知識を身につけたい場合は、工学系大学3年次への編入学や、本校専攻科へ進学することができます。また平成20年度より、本校は東京都立大学法人の一員となり、これに伴い、東京都立大学への編入学推薦枠が設置されるなど、グループ間の連携による独自の進路選択肢も用意されています。

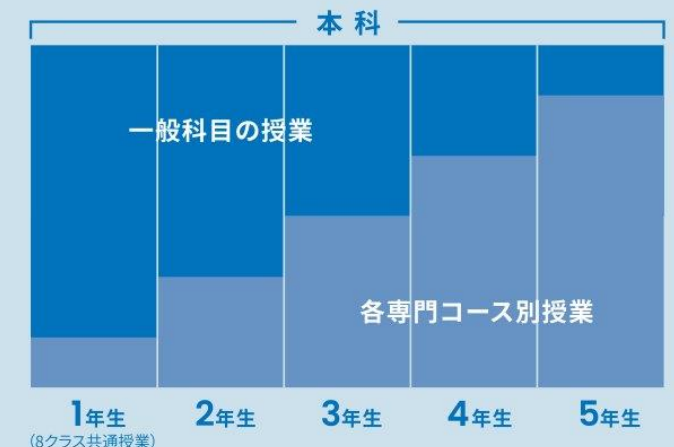


「基礎から応用まで —実践的エンジニアへの道—」

本校では5年間をかけて、ものづくりを基礎から応用まで段階的に学びます。1年生は、工学の基礎固めとして主要な分野である「機械・電気・情報」の概要を「ものづくり実験実習」により学びます。2年生からは専門コースに分かれて専門分野を修得し、5年生では集大成として、自分で課題をみつけ、解決する「卒業研究」を行います。

「ものづくりを支える 基礎学力と教養の育成」

本校の3~5年生が受ける授業や実験は大学レベルを想定しており、高度なものも多くあります。それらをしっかりと身につけるために、学年が上がるにつれて専門科目の割合が増えるよう、効果的に科目が配置されています。一般科目(国語、英語、数学、物理、化学、社会、保健体育など)は、基礎学力をつけるために低学年で多く学び、高学年では教養や国際性を身につけるために、個人の興味や進路に応じた科目を選択して履修します。



CAREER PATHS

卒業生の進路

全ての就職実績と進学実績は
ホームページに掲載されています



就職

令和7年度卒業生

100%

内定率

一人あたり**8.9**社の求人

就職担当より

これまでの東京都立工業高等専門学校(現:本校品川キャンパス)ならびに東京都立航空工業高等専門学校(現:本校荒川キャンパス)に寄せられていた多くの求人に加えて、新たなコースを展開した本校に期待を寄せる企業から幅広い求人が多数寄せられました。

大学とは異なり、高専では実験実習に力を入れていることが企業にも広く認知され、高専卒業生は技術力を持つ人材として引手あまたです。大学卒と同じフィールドで仕事をしても引けをとらないと高く評価してくれる企業の声も多く聞かれます。

キャリア支援センター(就職支援チーム)では、主に5年生の就職活動をサポートしています。この不況の中でも継続して100%に近い就職率を維持してきた上述の前身校の血を受け継いで、16期生も頑張って就職活動を行いました。

進学

令和7年度卒業生

115人

国公立大学等
現役進学者数

進学担当より

高専生には、5年卒業後、大学の3年次(一部は2年次)に編入学する道や、本校の専攻科に進学する道が開かれています。

毎年、品川キャンパス・荒川キャンパスを合わせて、延べ100名以上の学生が大学編入学・専攻科入学試験に挑戦して、数多く合格しています。入試は推薦入試・学力入試の形式で実施されます。東京都立大学や東京農工大学、電気通信大学、千葉大学などの首都圏の大学をはじめ、全国のほとんどの国公立大学には、高専生を対象とした受入れ枠が設けられています。特に高専からの3年次編入生を主に受け入れ、大学院修士課程までの一貫教育や4年次の長期実務訓練(インターンシップ)が特色の長岡技術科学大学(新潟県)、豊橋技術科学大学(愛知県)の国立技術科学大学は、広く門戸を開いています。編入先は工学部が大部分ですが、志さえあれば理学部など様々な学部に対して編入学制度を利用することもできます。より専門的な勉強を深めるために大学・専攻科へ進学し、学士を目指す学生は4割を占めています。また大学・専攻科へ進んだ学生の半数以上が更に大学院に進学しています。

本科の主な就職先(過去3年間)

機械システム工学コース

東海旅客鉄道(株) キヤノン(株) TOPPAN(株)
(株)日立ハイテク 鹿島建設(株)

AIスマート工学コース

ソフトバンク(株) 西日本電信電話(株)
ダイキン工業(株) パナソニックコネクスト(株)
キヤノンマーケティングジャパン(株)

電気電子工学コース

花王(株) 日本たばこ産業(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株) 東日本旅客鉄道(株)
東京電力ホールディングス(株)

情報システム工学コース

ソフトバンク(株) (株)サイバーエージェント
(株)NTTドコモ NECソリューションイノベータ(株)
NECフィールディング(株)

情報通信工学コース

NECネットエスアイ(株) 東海旅客鉄道(株)
(株)リコー チームラボ(株) (株)日立ハイテク

ロボット工学コース

花王(株) (株)ジャノメ ダイキン工業(株)
DMG森精機(株) 東京エレクトロングループ

航空宇宙工学コース

三菱重工業(株)及びグループ各社
(株)IHI及びグループ各社 SUBARU グループ
(株)JALエンジニアリング ANA整備系グループ各社

医療福祉工学コース

第一三共(株) キヤノンメディカルシステムズ(株)
マブチモーター(株) 富士フイルム(株)
パナソニック(株)

本科の主な進学先(過去2年間)

東京都立大学	25名	横浜国立大学	2名	広島大学	1名
長岡技術科学大学	22名	新潟大学	2名	九州大学	1名
豊橋技術科学大学	17名	金沢大学	2名	東京都市大学	5名
東京農工大学	8名	北海道大学	1名	東京理科大学	4名
東京科学大学	7名	東北大学	1名	千葉工業大学	4名
千葉大学	6名	東京大学	1名	東京電機大学	3名
電気通信大学	5名	信州大学	1名	帝京科学大学	2名
筑波大学	3名	名古屋大学	1名	工学院大学	1名
東京海洋大学	3名	岐阜大学	1名	立命館大学	1名
九州工業大学	3名	京都大学	1名		
お茶の水女子大学	2名	神戸大学	1名	本校専攻科	70名

女子学生の主な就職・進学実績(過去2年間)

主な就職企業

(株)IHI アイ・システム(株) ANAベースメンテナンステクニクス(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株) (株)NHKテクノロジーズ (株)エヌ・ティ・ティ エムイー
(株)川島製作所 (株)クボタ筑波工場 (独)国立印刷局 (株)ジャノメ (株)JALエンジニアリング
シチズン時計マニュファクチャリング(株) 第一三共プロファーマ(株) 中外製薬工業(株)
(株)TMEIC 東海旅客鉄道(株) 東京ガスネットワーク(株) 東京水道(株)
パナソニックコネクスト(株) 浜松ホトニクス(株) フードテクノエンジニアリング(株) フジテック(株)
富士フイルム(株) 三菱ガス化学(株) 三菱地所プロパティマネジメント(株) (株)LIXIL

主な進学先

本校専攻科
東京都立大学
東京科学大学
お茶の水女子大学
東京農工大学
千葉大学
豊橋技術科学大学

注. AIスマート工学コース、情報システム工学コースは過去1年間

ADMISSION POLICY

本校が求める生徒像

- 1 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- 2 高専での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人
- 3 コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人
- 4 ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

COURSE GUIDE

コース選択制で自分に適した専門分野選び

本校には、社会の多様なニーズや高度化する科学技術に対応した8つのコースが設置されています。工学に対する広い視野を持つと共に、自分の適性に合ったコースを選択できるようコース選択制を採用しています。入学後の1年間は、コース共通混成クラスにより、工学の基礎である機械・電気・情報の各分野を学びます。この経験を基に、自分に適した分野を考え、2年生以降に所属するコースを選択します。



品川キャンパス



荒川キャンパス

本科(ものづくり工学科)

1年生	2~5年生	
品川キャンパス 荒川キャンパス コース共通混成クラス 選べる8つのコース	機械システム工学コース	「つくる」を極め、問題解決力を武器に持続可能な未来を拓く
	AIスマート工学コース	情報技術、AIを活用するデジタルなものづくりの実学を学ぶ
	電気電子エネルギー工学コース	つくる×つながる×かえる
	情報システム工学コース	ICTで社会に貢献:次世代ICTリーダーを目指して
	情報通信工学コース	情報通信技術の時代そして未来へ
	ロボット工学コース	今のロボットを学び、未来のロボットを考える
	航空宇宙工学コース	宙(そら)へ 技術の翼で はばたけ!
	医療福祉工学コース	医療・福祉をキーワードに機械・電気電子・情報を総合的に学ぶ

特徴ある教育プログラム

本校では、社会のニーズに応え、都市課題の解決に向けた創造的かつ実践的な教育を推進しています。

医工連携 教育・研究プロジェクト

令和3年度より開始

東京都が掲げる人生100年時代を実現するためには、健康で豊かな生活を支援するシステムや機器の開発が必要です。当校では、技術面からこれらの開発を支えるために、医学と工学分野の融合・複合を可能にする人材の育成を目指し、以下の3つのプログラムを立ち上げました。

未来工学教育プログラム

荒川キャンパスのコースカリキュラムに加えて、技術潮流に合わせた最先端技術を学ぶ技術者育成プログラムです。現在のテーマは、医工分野で注目されているIoT+AI技術の社会実装です。オブジェクト指向型プログラミングを基本に、データサイエンスや機械学習を学びます。更に、デザイン志向のプロジェクト科目を通して、柔軟な発想力と実践力を身につけます。

[対象]3年進級時に応募者から選抜 3年生~5年生(各学年12名程度)

医工連携共同研究プログラム

技術者だけでは方向性を見出すことが難しい医療福祉分野において、東京都立大学健康福祉学部及び近隣医療機関との協働で、パラメディカルや医師との連携による問題解決を試みます。医工両者が多様な視点から共同で研究を行うことにより、シナジーを発揮した開発が期待できます。

医工連携 教育・研究プロジェクト



情報セキュリティ技術者育成プログラム

平成28年度より開始

情報システムは社会基盤を支えるシステムであり、安全・安心を脅かす攻撃から情報システムを守ることが必要不可欠です。しかし、情報セキュリティ人材は不足しており人材の育成が喫緊の課題となっています。本プログラムは、本科3年生から専攻科2年生までの5年間のプログラムとなります。本科では225時間の演習を通じ、学生は基本的な情報セキュリティに関するスキルを習得します。専攻科では現役エンジニアを客員教員として招聘しています。客員教員の指導の下、学生は1)情報セキュリティ監査、2)デジタル・フォレンジック、3)ペネトレーションテスト等のスキルを習得します。

[対象] 情報システム工学コースより3年次進級時に志願者の中から選抜 3年生~5年生(各学年最大16名)、専攻科情報工学コース(本科情報セキュリティ技術者育成プログラム修了生)

航空技術者育成プログラム

平成28年度より開始

航空輸送量の増大並びに国産航空機製造に伴い関連企業の成長が見込まれる一方で、ベテラン技術者の大量退職により航空技術者の不足があります。航空機の高度化に伴い製造・整備現場業務が質的に変化の中で基礎的な技術力に加え実践的な幅広い知識・技能を習得する本プログラムを開講しています。また新たに産学が連携した教育プログラムが始まります。講義は航空実習館「汐風」で行います。

[対象] 航空宇宙工学コースより2年進級時に志願者の中から選抜 2年生~5年生(各学年8名程度)

総務大臣による 国家資格の認定

通信業界に限らず、無線従事者を必要とする業務に役立つ資格のうち、本校で所定の単位を取得していれば右記の2つの免許証(国家資格)が卒業時に申請するだけで取得できます。

[対象] 情報通信工学コース(人数限定なし)
[資格] 第二級陸上特殊無線技士
第二級海上特殊無線技士



機械システム工学コース



「つくる」を極め、問題解決力を武器に持続可能な未来を拓く

機械システム工学コースでは、この広大で奥深い機械工学の世界を、基礎から応用まで体系的に学ぶことができます。「4力学」と呼ばれる機械の設計や制御に必要な知識を習得し、製図、設計、加工、実験などの実践科目で、理論を現実のものづくりに活かす力を養います。さらに、プログラミング、情報処理などのデジタル技術も重視。これらを機械工学と融合させ、高度で革新的なものづくりに挑戦します。幅広い知識と実践的なスキル、そして問題解決能力を身につけさせ、フィジカルAI時代を担うエンジニア（ものづくりの最前線で活躍し、持続可能な社会の実現に貢献できる人材）を育成します。

主に学ぶ科目

- 2年 基礎材料学、機械設計製図、プログラミング
- 3年 材料力学Ⅰ、機械加工Ⅰ、電気工学、機械システム設計Ⅰ
- 4年 機械力学、熱力学、ロボット工学
- 5年 流体力学、センサ工学、創造機械製作

主な卒業研究

- 動的モード分解を用いた Hydrothermal Wavesの数値的研究
- 小型波浪観測ブイにおけるIMUジンバル機構の開発
- 廃棄物由来セラミックスを用いた汚水浄化装置用セラミックススポンジ担体の作製

AIスマート工学コース



情報技術、AIを活用するデジタルなものづくりの実学を学ぶ

現在、様々な「もの」がインターネットにつながりスマート化され進化しています。次世代のものづくりは、これまでの技術×AIにあり、それによって、個々のニーズに合ったきめ細かなサービスが実現され、AIやスマート化技術の活用で、未来都市「スマート東京」が実現できます。AIを活用し、スマート化技術で「もの」をつくるために、機械、電子工学をベースにデジタルで「もの」を「かたち」にする技術、「もの」同士を「つなげる」技術、「もの」を「動かす」技術、「AI」を「活用」する技術を実際に体験しながら学びます。

主に学ぶ科目

- 2年 プログラミング、マニファクチャリング基礎、AIスマート工学概論、設計製図
- 3年 情報処理、情報システム基礎、電気工学、電子工学、設計工学、工業力学
- 4年 スマート制御、コンピュータネットワーク、材料力学、機械力学
- 5年 データサイエンス、アクチュエータ工学、信号処理、スマートモビリティ工学

主な卒業研究

- フィジカルデータを使ったディープラーニングの応用研究
- 管内走行マイクロロボットとそのアクチュエータに関する研究
- 情報インフラの利活用に関する研究

2025年度からコース名とカリキュラムが変わりました

電気電子エネルギー工学コース



つくる×つなげる×かえる

技術と共創で世界をデザインしたい君へ。電気電子エネルギー工学コースは未来を照らす技術者になりたい君を応援します。【つくる】電気工学、電子工学、情報制御工学を駆使したものづくりを通じ、持続可能な開発目標の実現に貢献するグリーン・デジタル人材を育成します。【つなげる】加えて、設計製作やプロジェクトを通じ、問題発見解決力とリーダーシップ・メンバーシップ・チームワークを養う体験を提供します。【かえる】そして、自身の専門スキルを研ぎ続け、実現したい未来に向けて、異なるスキルを持つ仲間と挑戦し続ける技術者を育成します。

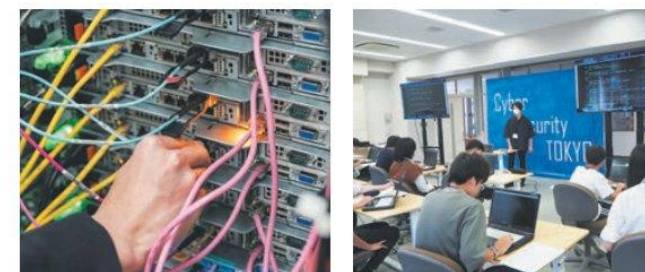
主に学ぶ科目

- 2年 電気回路、電磁気学、情報処理
- 3年 電子回路、電子工学、電気機器学、電気電子計測
- 4年 半導体工学、制御工学、ワイヤレス通信工学、コンピュータ工学
- 5年 再生可能エネルギー工学、パワーエレクトロニクス、システム設計製作

主な卒業研究

- 地域間連系線を活用した電力需給調整システムの最適運用方法
- グラフ信号処理を用いた電波伝搬推定
- VR空間でのPseudo-hapticsの表面筋電位を用いた定量評価

情報システム工学コース



ICTで社会に貢献 次世代 ICTリーダーを目指して

みなさん、「インターネットが存在しない」世界で現在の生活を維持できるでしょうか？ICTの高度化・普及により、我々は「生活の質向上」を獲得してきました。ICTは、「水道」「ガス」「電気」などと同等に社会基盤の1つとなったのです。今後の持続的な社会の発達のためには、ICTを支える人材の役割はますます重要になってきます。情報システム工学コースでは、企業と協働し1) 高度ICTアーキテクト（情報基盤を設計・構築・運用できる人材）、2) 高度情報アーキテクト（ビッグデータ等を活用し情報サービスを企画・開発・リリースできる人材）、3) 高度情報セキュリティアーキテクト（情報基盤・サービスの安全・安心を担保できる人材）を育成します。

主に学ぶ科目

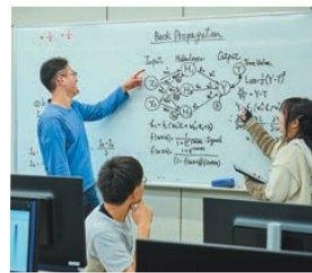
- 2年 情報システム基礎、ネットワーク基礎、プログラミングⅠ (Python)
- 3年 システムプログラミングⅠ (Rust)、プログラミングⅡ (Python)、データサイエンス
- 4年 エンジニアリングデザインⅠ、クラウド基礎、データベース
- 5年 エンジニアリングデザインⅡ、クラウドコンピューティングⅠ・Ⅱ、機械学習

主な卒業研究

- 仮想ルータの設定ファイル管理および編集ツールの開発
- 小型コンピュータを用いた作業者の行動解析
- OSINT演習環境構築



情報通信工学コース



情報通信技術の時代 そして未来へ

情報通信工学コースは、IT社会の基盤となる情報通信技術 (ICT)を支える「ものづくり技術者」を育成する教育コースです。コンピュータ工学を理解しながら情報処理を学び、電気電子工学を理解した上で、通信工学を学びます。情報と通信は独立して成り立つものではなく、密接につながっている上に、電気電子工学の基礎の上に成立している学問です。これらを総合的に学ぶことによって、社会に役立つエンジニアになることができます。

主に学ぶ科目

- 2年 電気回路、基本プログラミング、電磁気学
- 3年 電子回路、コンピュータ工学
- 4年 アルゴリズムとデータ構造、通信工学、創造実習
- 5年 デジタル信号処理、伝送工学

主な卒業研究

- 画像処理を用いたヒューマンインターフェースの開発
- 災害に強い通信システムの研究
- ハードウェア記述言語を用いた論理回路設計手法の研究

航空宇宙工学コース



宙(そら)へ 技術の翼で はばたけ!

人は、つねに青空と星空を見上げてきました。大空を鳥のように飛びたい、美しく瞬く星へ行ってみようという夢から出発し、それを実現するための技術や理論を学ぶのが本コースです。今や航空機や人工衛星は、私たちの生活に不可欠なものになっていますが、それらは最先端でありながら、力学的には単純で工学を学ぶのに最適な題材です。航空機や宇宙機を通してものづくりを学び、技術の翼で、はばたいてみませんか!

主に学ぶ科目

- 2年 工業力学Ⅰ、流体力学Ⅰ、航空宇宙工学概論
- 3年 材料力学Ⅰ、熱力学、宇宙工学通論
- 4年 高速空気力学、宇宙システム工学Ⅰ、航空工学通論
- 5年 航空機設計法、宇宙利用工学、飛行力学

主な卒業研究

- 小型ジェットエンジンに関する実験的研究
- CFRP製主翼の製作に関する研究
- GPSを用いたドローンの自律飛行に関する研究

ロボット工学コース



今のロボットを学び、 未来のロボットを考える

ロボットは、人間の骨格にあたる「機械」を土台として、神経である「電気・電子」、反射や運動にあたる「制御」、知能である「情報」のそれぞれの分野が融合してできています。ロボット工学コースでは、基盤となる機械系科目と電気電子・制御・情報系の科目を学習し、そのうえでロボット工学を学びます。また、多くの実験・実習による実践的な学習を行ない、工学システムを開発できる人材を目指します。「ものづくり日本」を支えるロボットエンジニアを目指して、一緒に頑張りましょう。

主に学ぶ科目

- 2年 機械工作法、設計製図、電気回路、電子回路
- 3年 材料力学、機械設計法、ロボット工学実習
- 4年 機械力学、流体工学、ロボット工学
- 5年 制御工学、センサ工学、応用ロボット工学

主な卒業研究

- 移動ロボットの位置制御のための画像認識手法に関する研究
- AIロボットの物体追跡システムの開発
- レスキューロボットコンテストに基づく救助ロボットの製作

医療福祉工学コース



医療・福祉をキーワードに 機械・電気電子・情報を総合的に学ぶ

医療福祉工学コースでは、「人々の快適で安心して生活できる技術」をキーワードに電気電子工学、機械工学、情報技術を学び、幅広い分野で活躍できるエンジニアの育成を目指しています。私たちの身の回りでは、多くの場面で技術が生活に活用されています。その中でも特に、医療や福祉の分野はこれから解決が期待される多くの課題が提起されています。そのような課題に実践的に取り組む中で、あらゆる分野で活躍可能なエンジニアを育成していきます。

主に学ぶ科目

- 2年 電気回路、機械設計製図、情報処理
- 3年 材料学、材料力学、電子回路
- 4年 電気磁気学、制御工学、機械力学
- 5年 生体計測工学、人間工学、生活支援工学

主な卒業研究

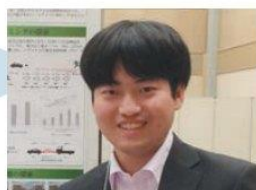
- 測定カフを用いない血圧計の開発に関する研究
- リンク機構を使った足首用リハビリテーション装置の開発
- スマートフォンを利用した3Dモデル作成とVR空間への応用

ADVANCED COURSE

専攻科のご紹介

専攻科(創造工学専攻)

専攻科は、本科5年間の教育を終えた後、さらに2年間の高度な専門知識及び技術を学ぶ教育課程です。高専本科とカリキュラムが連続しており、高専卒業生にとって学びやすい環境です。また1学年32人の、少人数教育による総合的実践的技術者の育成を目指しています。学校一括申請による学位授与機構の審査を経て学士(工学)の学位が取得できます。学位取得後は大学卒と同等の就職を実現できるだけでなく、国立・私立大学の大学院へ多くの学生が進学しています。



自動車技術会より優秀賞を受賞した和田純弥さん(機械工学コース修了生)

機械工学コース

本コースでは、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学、生産・加工学、材料学などの基盤技術のほか、振動工学、地震工学、都市セキュリティなどを学ぶことにより、ものづくりの総合的技術・技能に関する実践的応用力を有し、問題発見・分析・解決能力を発揮して、産業界のニーズに的確に応え国際的に活躍する機械技術者を育成します。

情報工学コース

情報システムは、重要な社会基盤の1つです。これらの情報システムを支えるためには、情報学および数理情報の基礎知識、およびこれら基礎知識を活用する能力が必要です。すなわち、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力および実践力が必須です。情報工学コースでは、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力・実践力を有し、今後の情報システムを創造する技術者を育成します。

電気電子工学コース

高齢社会の進行、資源の有効利用が課題とされる中で、電気電子技術へのさらなる期待が高まっています。本コースでは、エネルギー、エレクトロニクス、情報、医療福祉などの分野で活躍できる、人や環境に優しい技術を担える技術者を育成します。

航空宇宙工学コース

航空機・ロケットなどの技術や宇宙空間を利用した技術など、航空宇宙工学は様々な工学の最先端の知識や技術を必要とする「総合工学」です。本コースでは、宇宙推進工学、人工衛星工学、宇宙科学を中心に学び、航空宇宙だけでなく幅広い分野で活躍できる技術者を育成します。

令和7年度専攻科修了生の主な進路(3月修了)

主な進学先

宇都宮大学大学院	1名
東京大学大学院	1名
電気通信大学大学院	2名
東京都立大学大学院	1名
産業技術大学院大学	1名
筑波大学理工情報生命学術院	1名
豊橋技術科学大学大学院	2名
奈良先端科学技術大学院大学	2名
東京電機大学大学院	1名
芝浦工業大学大学院	1名

主な就職企業

ダイキン工業(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、(株)日立ビルシステム、SMC(株)、日野自動車(株)、マブチモーター(株)、森ビル(株)、ジー・オー・ビー(株)、本田技研工業(株)、三菱電機プラントエンジニアリング(株)、(株)ヒダン、(株)湯山製作所、(株)ドワンゴ、(株)オプティム、セコムトラストシステムズ(株)、(株)AGEST、合同会社Azux

修了生の声



機械工学コース 令和7年度修了

永尾 陽さん

東京都立産業技術大学院大学 創造技術コースへ進学

専攻科での二年間は、機械工学の専門性を深め、実践力を磨く貴重な時間となりました。特にインターンシップでは、知識が現場で活きる様子を体感し、学習の目的意識が明確になりました。また、学会発表等を通して論理的に伝える力も養えました。ここで培った「主体的な課題解決力」は、将来の大きな糧になると確信しています。少人数制で手厚い指導を受けられる専攻科は、専門性を高め、自分の可能性を広げたい人にとって最高の環境です。ぜひ、この充実した環境で自らの可能性に挑戦してください。



機械工学コース 令和7年度修了

大河原 温人さん

本田技研工業株式会社に就職

専攻科は、これまで培ってきた専門性を深めながら、新たな挑戦ができる点が魅力だと感じました。授業以外の時間は主に研究室で過ごすため、自然と研究への意識が高まり、主体的に取り組む姿勢が養われます。実際に、本科時代には想像していなかった国際会議での研究発表など貴重な経験も得られました。また、エンジニアリングデザインでのグループワークでは専門外のプログラミングに挑戦し、GUIシステムを仲間と独学で開発しました。これらの経験は就職活動でも大きな強みとなり、実践力のある技術者としての基盤を築けたと思います。

本校は令和3年度、JABEEの「技術者教育プログラム」の認定審査を受審し、日本技術者教育認定基準に適合していると認定されました。

※JABEEとは大学・高専等の高等教育機関で実施されている技術者を育成するための教育プログラムを、国際的な同等性を持つ基準により認定する第三者機関です。

GLOBAL ENGINEER

グローバルエンジニアのご紹介

世界で活躍できるエンジニアへ

国際的に活躍できるエンジニアを育てるため、本校では、ネイティブ教員による授業、英語検定の受検(3・4年:TOEIC)の他、放課後に無料の英会話レッスンやフリートークのできる「国際交流ルーム(通称 GCO)」、ホームルームに留学生を招く「異文化理解プログラム」、海外でホームステイ・語学研修・先端企業訪問等を行う「インターナショナル・エデュケーション・プログラム(IEP)」、2大学・1高専の学生がチームを編成しシンガポール・マレーシアで課題解決に挑む「グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP)」、海外の協定校の学生を春休みや夏休みに招いて交流する「学生国際交流プログラム」など、国際化を推進する様々な取り組みを行っています。

国際化推進プログラムと参加学年の構成

1年	2年	3年	4年	5年	専攻科
					GCP(リーダー)
	GCP(Global Communication Program)				
	IEP(インターナショナル・エデュケーション・プログラム)				
	学生国際交流プログラム		学生国際交流プログラム(リーダー)		
異文化理解プログラム					
GCO(Global Communication Oasis)国際交流ルームの活動					

GCOルーム(内容は年度によって異なります)

名称	品川GCO	荒川GCO
場所	3階305	3階A314
アクティビティ	Open Day	
	レベル別英会話	
	初心者向けTOEIC	
	おもてなしボランティア	
	異文化理解プログラム	
	カルチャースタディ	



グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP):協定校ニアン・ポリテクニクの学生に協力を得て現地調査を行いました。



インターナショナル・エデュケーション・プログラム(IEP):航空機を生産するボーイング社の工場を見学し、エンジニアの方と交流しました。



国際交流ルーム(GCO)の先生との英会話レッスンはとても楽しいです!



ハロウィーンパーティーを開催しました!

IEP参加学生の声

IEPは1~3年生が対象の国際プログラムです。アメリカ北西部のシアトルに渡航し、ホームステイ、観光、現地のエンジニアや高校生との交流などの様々な活動を行います。アメリカに行くことで、日本との文化の違いを体験したり英語の勉強になったりと、とても刺激的でした。特にシアトルは航空機やIT関連の先端技術が集結しており、将来技術者を目指す学生にとって最適と言えます。さらに、私のホームステイ先のホストファミリーの方々は今でも仲が良く、電子メールでやり取りをしています。もう一つIEPのプログラムで肝心な活動がグループで製品開発・英語のプレゼンテーションを行う「デザインシンキング」です。高専での教育課程とも深く関係する活動で、将来社会に出てから役に立つ英語とプレゼン力の向上につながる意義のある活動です。このように、IEPは英語の成績や高専在学中の学業だけでなく、卒業後の進路にも大きく関与してきます。是非IEPへの参加を検討してみてください!



航空宇宙工学コース3年 角田 尋さん

GCP参加学生の声

初めて訪れたシンガポールは、驚きと学びの連続でした。現地の学生との交流やフィールドワーク、英語でのプレゼンテーションなど、普段の学校生活では得られない貴重な体験がたくさんありました。特に印象に残っているのは、街頭インタビューです。英語に自信がなかった私は、最初は不安でいっぱいでしたが、同じチームの現地学生たちは、私のつたない英語にも真剣に耳を傾け、分からない部分は翻訳機を使ってサポートしてくれました。その温かさに支えられ、「自分の言葉で伝えること」に挑戦する勇気がわいてきました。また、多国籍のチームで発表を準備する中では、意見が食い違ったり、思うように進まなかったりする場面もありました。それでも、互いの考えを尊重し、丁寧に伝え合うことで、ひとつの形にまとめることができました。このGCPを通して私が学んだのは、「英語を話すこと」以上に「人と真剣に向き合うこと」の大切さです。文化や価値観が異なっても、心をこめて向き合えば、気持ちは伝わります。その実感は、これからの人生において大きな支えになると思います。もし参加を迷っているなら、ぜひ勇気を出して一歩を踏み出してみてください。きっと、新しい世界が広がるはずです。



情報システム工学コース5年 福井 愛梨さん

CAMPUS OVERVIEW

キャンパス施設紹介

東京都立産業技術高等専門学校は品川キャンパス・荒川キャンパスの2つに分かれています。機械システム・AIスマート・電気電子エネルギー・情報システム工学コースが品川キャンパス、情報通信・ロボット・航空宇宙・医療福祉工学コースが荒川キャンパスです。品川キャンパスは7階建て、荒川キャンパスは9階建てです。どちらも都心の学校には珍しく広々としていて、快適なキャンパスライフを過ごすことができます。

SHINAGAWA 品川キャンパス

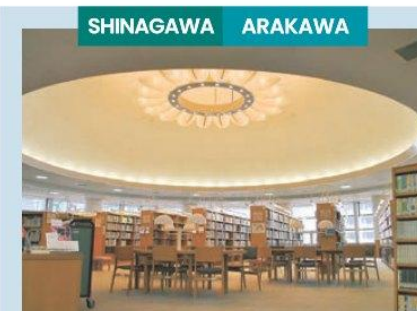


ARAKAWA 荒川キャンパス



食堂

定食や丼物、そば・うどんなどを比較的安価に食べることができます。ここで持ってきたお弁当を食べることも可能です。また生協があり、文具などのほかにお弁当やお菓子も売っています。



図書館

レポートや授業の調べ物をするときに利用されています。蔵書数は両キャンパス合計で約14万9千冊。工学系の本が多数を占めていますが、雑誌や新刊本もあります。試験前には勉強をする場として利用することもできます。



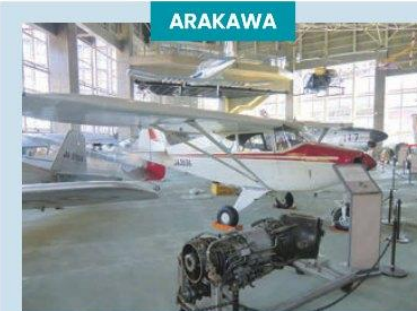
スマートスタジオ

ロボティクスやIoTを学習するI&Rフィールド、3DCADで設計し3Dプリンタ等でものを作るDEフィールド、これらのものを結合し、社会実装実験を行うCEフィールドから構成され、実践的なデジタルものづくりを行えます。



パソコン室

パソコンの実習は1人1台で行います。アプリケーションも充実しており、WordやPowerPointだけでなく、専門的なソフトウェアがインストールされています。放課後は学生に開放されています。



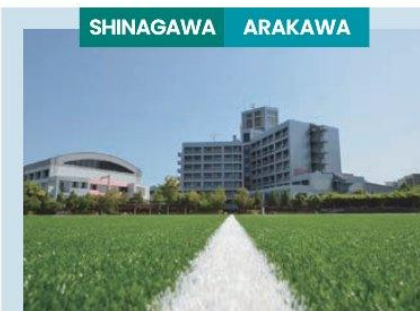
科学技術展示館

航空機・ヘリコプター・エンジン等の実物をはじめ、歴史的・教育的に価値のある各種工学機器を保存・展示しています。外観はジェット機のデルタ翼をイメージしており、外部からも展示物が望めるようガラス張りにしています。



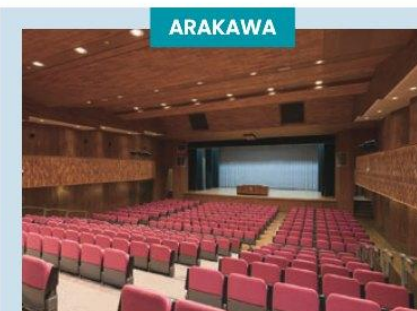
工場

機械部品を1から作るような機械加工をする目的で使われる場所です。旋盤やボール盤などの加工機械が多数置いてあります。一般には機械加工を行うコースが実習で利用しますが、1年生の時には全員がここで機械加工の実習を行います。



グラウンド

荒川キャンパスでは、300メートルのトラックを持つグラウンドと、東側の一部にゴルフ練習場、西側に砂入り人工芝テニスコート4面を設置しています。体育授業やクラブ活動、地域の方への開放事業で使用されています。



汐梨ホール

汐梨ホールは400席以上の客席を備え、本格的な音響設備、照明設備を有する総合文化ホールです。



情報基盤 オペレーションセンター

キャンパスネットワーク内では運用せず、AS(Autonomous System)名 IOC、AS番号 146980として情報基盤オペレーションセンターを運用しています。本センターの情報基盤環境は、授業に加え社会人のリスクリテラシー講座にも活用をしています。

CAMPUS LIFE

1年生の一日

1年生は、コース共通混成クラス編成で機械・電気・情報の専門科目の基礎と一般科目を学びます。専門科目よりも一般科目を多く学びます。ものづくり実験実習では10人程度のグループに分かれ、自らの手を動かし実験実習を行い、体験的に学習することでものづくりの基礎を身につけます。この経験をもとに、2年生で進みたいコースを選択します。授業は90分です。休み時間15分・昼休み50分で、学生食堂や生協を利用できます。放課後は校内塾やパソコン室を利用して、授業の復習や課題に取り組むことができます。また、委員会活動やクラブ活動も行っています。

	月	火	水	木	金
8:40~10:10 1限 2限	基礎数学 I	保健体育 I	ものづくり実験実習	前期: 基礎電気工学 後期: 基礎製図	前期: 情報リテラシー 後期: プログラミング基礎
10:25~11:55 3限 4限	英語 I	国語 I		国語 I	基礎数学 I
11:55~12:45 昼休み	学生食堂や生協などを利用します。				
12:45~14:15 5限 6限	地理歴史 I	化学 I	芸術	物理 I	保健体育 I (保健)
14:30~16:00 7限 8限	基礎数学 II		HR		
放課後	クラブ活動など クラブ活動、委員会活動などに取り組みます。				

数学、物理、語学などの講義があります。

ものづくり実験実習では、ものづくりの基礎となる機械加工実習、電気電子実習、情報・制御実習を行います。



CLUBS & CIRCLES クラブ・同好会

5年一貫教育の高専生は、在学中、じっくりとクラブ活動に取り組むことができます。15歳から20歳以上の幅広い年齢層の学生たちが協力して、スポーツに、芸術に、専門分野のものづくりに取り組みます。この活動の中で学んだチームワークやリーダーシップの大切さは、社会人になっても活かせる財産です。

品川キャンパス

[スポーツ系]	[文化系]	[技術系]
バスケットボール部 ソフトテニス部 バレーボール部 バドミントン部	卓球部 柔道部 剣道部 水泳部 テニス部	サッカー部 硬式野球部 ラグビー部 陸上競技部 弓道部
	吹奏楽部 写真部 茶道部 英語研究部	鉄道研究会 軽音楽同好会 謎研同好会
		電気通信部 高専ロボコン研究部 ロボカップ研究部
		省エネカー研究部 プログラミング研究部 高専デザコン研究部 モデリング研究同好会

荒川キャンパス

[スポーツ系]	[文化系]	[技術系]
陸上競技部 サッカー部 バスケットボール部 バレーボール部 バドミントン部 卓球部 柔道部 剣道部	テニス部 ソフトテニス部 水泳部 軟式野球部 ワンダーフォーゲル部 フットサル部 スキー同好会 ダンス同好会 ボルダリング同好会	戦術研究同好会 創作活動同好会 アナログゲーム同好会 サブカルチャー同好会
	吹奏楽部 音楽部 民謡研究部 茶華道部 奇術部 折り紙同好会 数学クラブ同好会	電気通信部 航空工作部 人力飛行機研究部 海洋環境研究部 ロボット研究同好会 応用物理研究部 航空機整備同好会 鉄道ジオラマ部 自転車整備部 宇宙研究同好会

クラブ・同好会活動の詳細はホームページに掲載されています



AWARDS

コンテスト・イベント受賞歴

高専では、運動系のクラブや、音楽部・吹奏楽部・茶道部など文化系クラブのほかに、専門分野をいかした技術系のクラブ・同好会が活躍しています。その舞台は、NHKの放送で有名なロボコンをはじめ、プログラミングコンテスト・ロボカップ・鳥人間コンテストなど、日本国内のみでなく世界規模の大会もあります。

DCON史上初の初出場最年少チームが最優秀賞を獲得!

DCONは全国の高専生が「ものづくり」の技術と「ディープラーニング」の知識を組み合わせ、社会実装を見据えた革新的な作品の事業性を競うコンテストです。DCON 2024では過去最多となる31高専72チームが参加しました。DCON同好会「Technology 七福神」は「FraudShield AI」というAIを活用した電話詐欺対策プロダクトを開発し、初出場ながら最優秀賞を獲得しました。「FraudShield AI」は、巧妙化する電話詐欺の手口に対応するため、会話内容を高精度に解析し、詐欺の可能性をリアルタイムに検知します。この革新的なプロダクトは、アクセスネット賞、さくらインターネット賞、ソフトバンク賞といった著名企業からも高く評価されました。特に、社会問題となっている電話詐欺の被害を未然に防ぐという社会的意義の高さに加え、技術的な完成度とビジネスモデルの実現可能性が評価され、本選では企業評価額4億円を獲得するに至りました。



A・B両チームが全国大会出場!!

NHKで放送されている「全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)」全国大会への出場を目標に活動しています。これまでに、優勝・準優勝・ロボコン大賞・技術賞など、数々の実績を残してきました。高専ロボコンでは、毎年まったく新しい競技テーマが発表されます。学生たちはアイデアを出し合い、ロボットの設計、部品加工、電子回路、プログラミングまで、すべて自分たちの力で取り組みます。何度も失敗と改良を重ねながら、世界に一つだけのロボットを完成させていきます。2025年度の競技テーマは「Great High Gate」でした。ロボットがボックスを積み上げてゲートを作り、そのゲートを人が乗った台車とともに通過する競技です。地区大会では、Bチームが準優勝し全国大会へ出場、全国大会ではベスト4入賞を果たしました。Aチームも特別賞を受賞し、全国大会ではエキシビジョンマッチに参加するなど、A・B両チームとも大きな活躍を見せました。



リアル脱出ゲーム甲子園で毎年上位入賞!

株式会社SCRAPが主催する全国の高校生および高専生を対象にリアル脱出ゲームのNo.1高校生クリエイターを決める大会、全国高校生リアル脱出ゲーム制作選手権「リアル脱出ゲーム甲子園」において、品川キャンパス謎研同好会は2022年「囚われの魔術高専からの脱出」というゲームを制作し、内容・美術・運営などあらゆる点において審査員から高い評価を得て見事優勝となりました。その後も2023年には「光なき終の世界からの脱出」で4位、2024年には「理不尽なスゴロクからの脱出」で準優勝という成績を収めています。学生は役割分担しながら協力して1つのゲームを作り上げ、企画だけでなく運営・設営に至るまで行い、良いものを作り上げるため最後の最後まで議論と検討を重ね、来場した皆様に楽しんでもらえる作品を作り上げています。



全国高専体育大会サッカー競技に24年ぶりの出場

かつては、航空高専時代に関東大会5連覇を成し遂げ、全国大会でも上位進出を果たすなど全国常連校として名を馳せてきたサッカー部でしたが、指導体制の変化や部員の減少など、さまざまな要因が重なり次第に成績は低迷化し近年では関東大会でも思うような結果を残すことができなくなっていました。そのような中、部員の弛まない努力や地道な活動を重ね続け、2024年7月に主管校として出場した関東大会では準優勝を収め、第59回全国高専体育大会サッカー競技兼第57回全国高専サッカー選手権大会において航空高専時代から実に24年ぶり、都立高専としては初となる全国大会出場(開催校枠での出場を除く)を果たしました。ここから新たな都立高専サッカー部の歴史をつくるべく、チーム目標を『直向き、誠実、一生懸命』として、少人数ながらも日々継続して活発な活動を続けています。



SUPPORT

学生生活サポート

未来工房

未来工房は、学生たちのアイデアの実現を支援する施設です。ここでは、各種工作機械・工具が用意され、ものづくりを志す学生が集い、交流・協力が盛んに行われています。校内の公募によって選ばれた学生発のプロジェクトを支援するとともに、高専ロボコン、高専デザコン、ロボカップ、プログラミングコンテスト、衛星設計コンテスト、鳥人間コンテストなど各種コンテストへ出場する学生の支援も積極的に行っています。



校内塾・オフィスアワー・PCの利用

本校では、授業時間以外の学習も大切にしています。そのため、学生が自分の力で理解を深められるよう、校内塾やオフィスアワーなどのサポート制度を設けています。校内塾では、先輩学生がSA(Student Assistant)として質問に答え、学習を支えます。年齢の近い先輩に相談できるため、気軽に質問しやすいことも特長です。オフィスアワーでは、教員が授業で分からなかった内容などの質問や相談を受け付けます。また、PCの貸し出しもあり、荒川キャンパスでは放課後にパソコン40台の部屋を自由に利用できます。こうした制度を活用し、学ぶ力を着実に伸ばしてほしいと考えています。



授業料の減免制度・奨学金について

入学料や授業料の納入が困難な場合には、減額又は免除する国や都、法人独自の制度があります。また、各種奨学金(独立行政法人日本学生支援機構、東京都育英資金等)の取扱いも行っており、在学中の学校生活のサポートを行っています(概要は下記参照)。

① 高等学校等就学支援金【国の制度】

1~3年生まで(入学後在籍36カ月まで)の学生で、国籍要件を満たした学生を対象に、国が支援金を支給する制度です。世帯収入に関わらず授業料全額が国から支給されます。支援金は学生本人に代わって本校が受け取り、授業料に充当します。

※国籍要件を満たさない学生へは経過措置があります。
※2026年6月時点の情報です。2027年度以降の制度改正等に係る情報は本校HPにて随時更新します。

② 東京都立産業技術高等専門学校授業料軽減制度【東京都の制度】

1~3年生まで(入学後在籍36カ月まで)の都内在住の学生を対象に、東京都が支援金を支給する制度です。都内在住を要件に、国籍要件を満たさず①の国の制度が適用されない学生に対して、東京都が授業料の一部または全額を支給することで授業料の負担軽減を図る制度です。

③ 高等教育の修学支援新制度【国の制度】

4~5年生及び専攻科1~2年生を対象とした授業料・入学料の減免と返還不要の給付型奨学金を支給する制度です。世帯収入、資産及び学業成績を満たした学生が対象となります。令和7年度より、世帯収入に関わらず、扶養する子が3名以上の世帯(多子世帯)を対象に授業料無償化を実施しています。

④ 都内子育て世帯に向けた新たな授業料減免制度【東京都の制度】

4~5年生及び専攻科1~2年生の学生を対象に、学生の生計維持者(原則、父母)が東京都内に在住している場合、東京都が授業料の支援を実施する制度です。学生の生計維持者が都内在住であり国籍等の要件を満たしている場合は、授業料が全額免除されます。

⑤ 入学料・授業料減免制度【東京都立大学法人の制度】

経済的理由等により入学料・授業料の納付が困難な方に向けて、収入や国籍等の要件を満たす場合に入学料・授業料を減額又は免除する本校(本法人)独自の制度です。

⑥ 奨学金制度

奨学金制度は、人物・学力ともに優れ、かつ経済上の理由で修学困難と認められる学生に学資を給付・貸与する制度です。奨学生への応募は、学校を通じて行う場合(独立行政法人日本学生支援機構の給付・貸与奨学金等)と、自治体又は団体に学生自身が各自で行う場合があります。

⑦ 奨学のための給付金【都道府県の制度】

1~3年生までの学生で、非課税世帯等を対象に、授業料以外の教育費を支援するための給付金を支給する制度です。

⑧ 選択的学習活動支援制度【東京都の制度】

1~3年生までの学生で、授業料以外の経済的負担を軽減することを目的として、学校が選定し、東京都が認めた活動(検定等の受検等)に必要な経費を学校が直接受け取り、対象となる学生の検定料等に充当する制度です。

資格取得・大学編入サポート

本校では各種資格試験を単位化し、教育プログラムの中で学外学修単位として認定しています。資格試験のための講習会も行われ、多くの学生が積極的に参加しています。また、大学編入試験のための選択科目の配置、進学ガイダンスや大学教員による説明会等を行い、希望の大学に編入できるよう、サポートをしています。

本校で単位認定されている主な資格

TOEIC・実用英語技能検定・技術英語能力検定・陸上無線技術士・技術士補・CAD利用技術者・CG検定・電気工事士・電気主任技術者・情報処理技術者・航空無線通信士・電気通信主任技術者・機械設計技術者・シスコ技術者認定

Q&A

高専生活Q&A

Q1 高専と高校の違いは?

高専は、中学卒業後に入学できる、大学と同じ高等教育機関です。5年一貫の教育で実践的な技術と専門知識を身に付けることができます。また、卒業すると準学士の称号が与えられ、大学3年次への編入が可能です。



Q2 キャンパスやクラスはどうなるの?

入学試験の際に、1年生で通うキャンパスを選択します。1年生はコースに関係のない混成クラスになります。その後、2年生に進級する際に希望するコースを選んで勉強することになります。



Q3 どんな人が高専に向いている?

科学や工学に興味がある人、理数系が得意という人はもちろん、宇宙や飛行機が好き、車やロボットを作ってみたく、IT技術やプログラミングに興味がある人にも向いています。



Q4 クラブ活動は?

それぞれのキャンパスにあるクラブ、同好会など20以上の団体から選んで参加できます。詳しくは17ページ本校のホームページをご覧ください。



Q5 勉強は大変?

5年間で高校・大学課程の多くを修得することになりますので、その分密度の濃い勉強をすることになります。その反面、大学受験などに時間を費やす必要がないので、放課後や長期休暇にはクラブ活動や自分の趣味に打ち込む余裕も十分にあります。



Q6 どのコースを選んだらよいかわからないのですが?

1年生では、工学の基礎を全員同じ内容で学びます。また、コースを選ぶまでに説明会や研究室訪問が複数回行われます。勉強をしたり説明を聞く中で自分の適性を考えて、コース選択をすることができます。ですので、入学時点でコースがわからなくても大丈夫です。

女子中学生のみなさん **226人** の女子学生の先輩が待っています

Q 都立高専を選んだきっかけは何ですか?

中学生の頃、医療機器関連の技術者になりたいと思っていました。医療系の学科やコースがある高専は全国にここしかなく、受験の決め手になりました。不安はありましたが、体験入学時で女子の先輩に優しく教えてもらえ、その際に5年間かけて基礎から段階的に専門分野を学んでいけることを知り、安心材料になりました。また、女子の先輩方が学年関係なく仲良くしている姿をみて、ここで仲間を作りたいと強く思いました。

将来は漠然とエンジニアになることに憧れを持っていました。中学卒業後、すぐに高い専門教育が受けられる高専に惹かれていましたが、学ぶ内容を決めた上で受験する勇気がありませんでした。都立高専では2年生進級時に所属コースを選択できるため、入学後に将来について考える時間を持てるのが良いと思いました。

Q 本校を目指す女子中学生にメッセージをどうぞ。

制服がなく髪型やネイルなどアクセサリーも自由なため、日々勉強するだけではなく、自由におしゃれもできます。学校での自由度が高いためONとOFFの切り替えをしっかりとメリハリをつけられれば、とても充実した学生生活がおくれます。また勉強やレポートも先生方が丁寧に教えてくれるので、何にも心配ないですよ!!

女子は少ないですが、先輩方はとても優しい方ばかりなので「女子が少ないから・・・」などと思う必要はありません。学年やコースの隔たりなく女子同士で確実に仲良くなれます!



MESSAGES

メッセージ



校長 柴崎 年彦

本校の歩み

昭和37年4月1日
東京都立工業高等専門学校・
東京都立航空工業高等専門
学校開校

平成18年4月1日
高校を統合し東京都立産業技
術高等専門学校開校

平成20年4月1日
公立大学法人首都大学東京(現・
東京都公立大学法人)へ移管

“ものづくりで自分の思いをカタチに”

皆さん、こんにちは。
東京都立産業技術高等専門学校は、平成18年に1高専2キャンパスの新しい都立高専として開校しました。本校は、「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」を使命として、教育・研究活動に取り組んでおります。東京は、都市部の抱える先端的・複合的な課題から、多摩・島しょなどにおける地域性の高い課題まで、解決の必要な課題が数多(あまた)、幅広く存在します。これらの課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成は、世界の課題の解決に資するエンジニアの育成につながると思っております。

都立高専では、中学を卒業後に入学してから、本科で5年間、さらに専攻科へ進学すれば7年間と、長い期間をかけて、情報・電気・機械といった技術をベースにした特色のあるコースで、ものづくりを学びます。また本校では、皆さんの成長のために、通常の勉強以外に、様々なことを学べる機会を用意しております。学校行事やクラブ活動をはじめ、国際社会で活躍できるエンジニア育成を目的とした海外プログラム、起業家の素養を育てることを目的としたスタートアップ教育支援プログラム「地動計画」、学内外のコンテスト等々です。これらの学びを通して、皆さんにぜひ身につけてほしい力は、「皆さんの思いや考え、着想などを、具体的なカタチにする力」だと思っております。

ものづくりを通じて、将来の夢や目標を叶えたい、そのような皆さんを、都立高専は全力で応援しております。

“未来をつくる人をつくる。”

これは本校のスローガンです。本校には、Society5.0で実現する未来社会に向け、AIやIoT等を積極的に活用した新たなものづくりを学び、時代の要請に応え、社会をけん引する実践的人材育成のための学びの場を多数用意しております。

これからの“未来をつくる人”は、若い皆さんです。皆さんの未来コンパスを都立高専に向けてみませんか。

卒業生からのメッセージ



貝澤もみじさん

松戸市立金ヶ作中学校出身
医療福祉工学コース 令和6年度卒
千葉大学 工学部 情報工学コースに進学

私が高専に入学したのは、「ものがつくれるってかっこいい!」と思ったからでした。しかし、高専に入ったから自然にできるようになるわけではありません。ただ、自分から動けば、専門知識を持つ先生や友達から多くを学べます。卒業後の進路も工学系に限らず、営業職や音楽分野など様々です。今は何も知らなくても、途中で道を変えても大丈夫。5年は人生で大きな時間ですが、興味があるならやってみるのも良いのではないのでしょうか。



二分隼人さん

西東京市立ひばりが丘中学校出身
機械システム工学コース 令和6年度卒
東京都立産業技術高等専門学校 専攻科
創造工学専攻 機械工学コースに進学

私は昔から車が好きで、「車づくりに携わる技術者になりたい」という思いから都立高専に入学しました。5年間は決して楽な道のりではありませんでしたが、たくさんの知識や能力を身に付け、技術者を志す者として大きく成長できたと思っています。都立高専の良いところは、自分の興味を伸ばし、それを仲間と一緒に追求できる環境だと思います。やりたいことがまだ分からなくても大丈夫です。学校見学にきて、先輩や先生と話してみてください。都立高専の魅力が伝わるはずですよ。



三森凜太郎さん

品川区立浜川中学校出身
ロボット工学コース 令和6年度卒
東京電力ホールディングス株式会社に就職

私は学校見学や文化祭を通して、様々なことに熱中している人たちが多くこの学校で学びたいと思い入学しました。授業は結構な速さで進みますが、友人たちと助け合うことで乗り越えることができました。課外活動では自由な校風からいろいろなことに挑戦できます。友人と協力してロボットを製作したときにも様々な加工機が利用できるなど、設備も充実しています。この学校にはいろいろなところにチャンスが眠っているので、ぜひ手を動かして挑戦してみてください。



石島健太郎さん

北区立十条富士見中学校出身
電気電子工学コース 令和6年度卒
キヤノン株式会社に就職

私は元々文系の人間でしたが、ただものづくりが好きという理由で高専を選びました。最初は進みの速い高専数学に苦戦しましたが、勉強法を工夫し、順位を上げていきました。好きなことには一生懸命になれる。高専で自分の「好き」を見つけて、ぜひ努力してみてください。その「好き」がたえものづくりと無関係でも、1つのことを極めた経験は必ず役に立ちます。5年間は長いようで短いです。毎日を大切に過ごして下さい。

学校説明会等スケジュール

	品川キャンパス	荒川キャンパス
学校見学会 キャンパスライフを知ろう	6月21日(日)	6月28日(日)
体験入学 ものづくりの楽しさを体験しよう	7月18日(土)	8月2日(日)
入試過去問紹介 入試の傾向を知り対策しよう	10月4日(日)	10月3日(土)
学校説明会 第1回 学生の活動を知ろう in 文化祭 第2回 入試前の不安を解決しよう なんでも相談会	第1回 10月31日(土)・11月1日(日) 第2回 12月6日(日)	第1回 10月31日(土)・11月1日(日) 第2回 12月5日(土)
都立高等学校等合同説明会 個別相談に応じます	東京国際フォーラム 8月9日(日)	

※日程・内容の変更や中止になることがあります。最新の情報は、本校HPでご確認ください。
また、上記イベント時以外でも平日の校内見学や相談を随時受付けています(要電話予約)。

入学選抜

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜
出願受付期間	令和9年1月8日(金)～18日(月)	令和9年1月29日(金)～2月4日(木)
検査実施日	令和9年1月27日(水)	令和9年2月15日(月)
合格発表日	令和9年2月2日(火)	令和9年2月19日(金)
選抜方法	調査書、面接、小論文	学力検査(国語・数学・英語)、調査書
募集人員	320名 (1)推薦に基づく選抜:96名(30%) (2)学力検査に基づく選抜:224名(内、都外在住者60名)(70%)	
学 費	入学者査料 12,600円(推薦・学力共) 入学金 42,300円(東京都の住民)・84,600円(東京都の住民以外の者) 授業料 234,600円(年額) ※入学金及び授業料の減免制度に関しては、P19をご覧ください。	

※選抜方法・募集人員・学費は、令和8年度入学生を対象としたものです。詳細については決定次第、本校HPでお知らせいたします。

※令和8年度入学者選抜より、インターネットを活用した出願を導入しています。

インターネットを活用した出願に係る出願受付期間等については、別途定めます。



品川キャンパス

〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40
TEL.03-3471-6331 FAX.03-3471-6338



荒川キャンパス

〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1
TEL.03-3801-0145 FAX.03-3801-9898



最新情報はホームページに掲載されます。

www.metro-cit.ac.jp

とりつこうせん

検索



古紙リサイクル率80%再生紙を使用